

衣替えでよくある、困ることとは？

ライオン株式会社が運営する生活情報メディア「Lidea」が2016年9月、20～40代の男女1,000人に行った「衣替えに関するアンケート調査」によると、夏服から秋服に切り替える際、衣類でよくある「困りごとベスト5」として、「黄ばみ」「しわ」「ニオイ」「色あせ」「虫食い」の順で困りごとがあることがわかりました。なかでも「黄ばみ」については、「衣替えの時にしまい洗いをしたのに、白い服に黄ばみが出来てしまった。」という悩みが多く寄せられているそうです。黄ばみの原因は「洗濯しても落としきれずに残った、繊維の奥に蓄積された皮脂

■衣替えによくある「困りごと」ベスト5

第1位	黄ばみ
第2位	しわ
第3位	ニオイ
第4位	色あせ
第5位	虫食い



汚れ」で、黄ばみを予防するには、日々の洗濯時に皮脂汚れをしっかりと落とすこと、また衣替えの「しまい洗い」をする時に、丁寧に皮脂汚れを落とすことが大切なのだそうです。

具体的には、汚れ部分にシミ用の部分洗剤や漂白剤を直接塗り「前処理」をしてから洗濯する、また洗濯前に漂白剤で「つけおき洗い」をすることがおすすめだということです。

東芝では、衣類の黄ばみを予防する縦型洗濯乾燥機の新製品を発売します。

ぜひともご拡販よろしくお願ひします。

※ライオン株式会社 Lidea 「衣替えに関するアンケート調査」 2016年9月 N1000

東芝商品情報

温風で温めながら洗い、衣類の黄ばみを予防する縦型洗濯乾燥機の発売について
 —強化ガラスを使用し、拭きやすいフラットな「ガラストップデザイン」を新採用—

AW-10SV5、AW-9SV5の発売について

10月発売



「ガラストップデザイン」

新製品は、本体上面に強化ガラスを使用した「ガラストップデザイン」を新採用しました。サニタリールームなどのインテリアに調和し、汚れが拭き取りやすいフラットな新デザインです。また、温風で衣類と洗濯水を温めながら洗うことで、洗剤の酵素を活性化させて、洗浄力を高める「温(あった)か洗いコース」を新搭載しました。新コースには、洗浄の効果を高めるためにつけおきが含まれており、つけおき時間は、汚れ具合に合わせて1・2・4・6・8時間から選択できます(つけおきなしも選べます)。衣類と洗濯水を温めて洗うことで、洗剤が汚れを分解する力が高まり、皮脂汚れをしっかりと落とし黄ばみを予防します。洗いは、「S-D Dモーター」と「抗菌メガスクレーパー」によってパワフルに洗う「ザブーン洗浄」(標準コース)です。モーターとパルセーターが直結しているので、洗濯物の量、種類を高い精度で見極め、適した水流に制御して洗います。

さらに、清潔さに配慮して、水道水に抗菌成分(銀イオン)を含ませた「Ag+抗菌水」で洗濯するため、抗菌成分が繊維の奥まで浸透して、部屋干し臭等の元となる雑菌の繁殖を抑えます。汚れをはじく親水性の高いガラス質コート(防汚コート)を洗濯槽の表面にコーティングした「マジックドラム」で、黒カビの原因となる洗濯槽の裏側への汚れの付着を防ぎ、洗濯槽を清潔に保ちます。パルセーター・糸くずフィルター・ふる水用給水ホースの先端部も抗菌加工です。加えて、デリケートな衣類もシャワーによる押し洗い効果で傷めずしっかり洗える「おしゃれ着トレー」を使用した「おしゃれ着コース」、ダイレクトドライブ方式のS-D Dモーターによる低騒音設計も備えています。一体型の洗剤・柔軟剤ケースは、洗剤等が溶けやすくなっており、濃い洗剤液をすばやく注水できます。

<商品の概要>

形名	色	容量	発売日	価格
AW-10SV5	(T)グレインブラウン (W)グランホワイト	洗濯:10kg 乾燥:5kg	10月	オープン
AW-9SV5	(W)グランホワイト	洗濯:9kg 乾燥:5kg		